

首都圏デジタル電話網拡充事業



セントロ局

借款概要

承諾額/実行額	5,875百万円 / 5,616百万円
借款契約調印	1988年2月 / 1990年2月
借款契約条件	金利3.75%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1997年6月

事業概要

グアテマラシティ首都圏において積滞している電話需要に応え、電話網の拡充・近代化を図ることにより、都市中枢機能を向上させるとともに、市民生活のインフラを築き、社会・経済活動の活性化を図るもの。

評価結果

本事業の回線容量は、事業終了後の1997年に計画値の50,000回線を達成、加入者数も1998年に同数に達した。1997年に6,000であった積滞回線数は、2000年に半減している。アプレイザル時において100人当たり7.2台であった同国首都圏の電話普及率は、2000年末時点で18.3台となっている。また、障害発生率は2000年で4.7%と目標値7%よりも改善され、通話完了率についても2000年末時点で目標値50%を上回る55.7%となり、本事業は通信の信頼性向上に貢献したものと考えられる。

本事業の施設は、1997年の貸付完了後に経営の効率化、サービスの向上を目的として民営化が行われ、民間会社が本事業施設の運営・維持管理を行っている。同社によって事業は問題なく運用されており、また、電話サービスの質も改善されており、今後も自立的に持続発展していくと思われる。